

宮城県民会館及び宮城県民間非営利活動プラザの集約・複合化事業に係る 大規模事業評価調書の要旨

環境生活部消費生活・文化課，共同参画社会推進課
令和3年6月作成

1 対象事業名

宮城県民会館及び宮城県民間非営利活動プラザの集約・複合化事業

2 事業の概要

仙台医療センター跡地に，宮城県民会館及び宮城県民間非営利活動プラザの集約・複合化施設を整備し，両施設が抱える老朽化などの課題を解消するとともに，利用者間の交流や事業の連携などを通して，両施設のこれまでの取組を更に発展・強化するもの。

【参考】

予 定 地：仙台医療センター跡地（仙台市宮城野区宮城野二丁目地内）

敷地面積：54,530.31㎡

事業規模：施設 22,200㎡

・ホール部門（大ホール）	8,000㎡
・民間非営利活動部門（交流サロン，NPOルーム等）	600㎡
・創造・育成・連携拠点部門（スタジオシアター，スタジオ等）	4,700㎡
・交流・コミュニティ部門：（ギャラリー，会議室等）	2,800㎡
・管理運営部門（事務室，廊下，機械室等）	6,100㎡

費用 初期建設費 25,339.1百万円

維持管理費 33,275.2百万円（維持管理期間30年）

3 スケジュール

令和3年度	大規模事業評価，プロポーザル方式による設計事業候補者選定
令和4年度～令和6年度	基本・実施設計
令和7年度～令和10年度	建築工事

供用開始予定 令和10年度中

4 県の評価

本事業は，宮城県民会館及び宮城県民間非営利活動プラザの老朽化を解消するとともに，両施設のこれまでの取組を発展・強化することで，本県の文化芸術及びNPO活動の更なる振興が図られるものである。また，両施設を集約・複合化することで，施設規模の適正化や運営効率化が図られるものである。

なお，本事業の実施に当たっては，広域的なアクセス性が高く，県内外から多くの来訪者が見込まれること，また，環境評価条例の対象とはならず，周辺地域への影響も少ないこと等から，適切であると判断した。